

第5章 整備の基本方針

第1節 整備の基本理念

整備本計画では、保存活用の大綱・基本方針を踏まえ、町民に愛着を持たれ、かつ、町内外にアピールできる史跡の姿を具現化すべく、整備の基本理念と基本方針を次のように設定する。

整備基本計画で目指す棚倉城跡の姿

学んで楽しむ 魅力いっぱい「御本城」

- 史跡棚倉城跡を確実に保存・継承し、整備活用を通じてその本質的価値を正しく理解し、広く発信する。
- 史跡棚倉城跡の本質的価値である本丸土塁や多門櫓等の価値を顕在化させ、機能や規模を体感でき、魅力を感じられる空間整備を行なう。
- 町民と協働による史跡整備や公開活用を展開し、当町の歴史文化の核として、史跡を活かした魅力ある町づくりに貢献する。

第2節 整備の基本方針

整備事業の設計にあたっては、発掘調査や史料調査などを十分に行いその成果に基づく正しい理解を広めるものとする。また、現存遺構の顕在化や調査成果に基づく遺構表示などによりかつての姿を尊重した整備を検討する。さらには、整備事業の過程では、工事等の経過をできるだけ公開することとし、町民や観光客に整備事業に対する理解を深めてもらうよう努める。棚倉城跡の整備にあたっては、前述で述べた基本理念に基づき基本方針を下記の7つに定める。

1 継続的な調査研究と維持管理による、遺構・遺物の保存と次世代への継承

継続的な調査研究により、棚倉城跡の実態解明に努める。また、計画的かつ継続的な維持管理によって、棚倉城跡における本質的価値の中核をなす遺構・遺物を恒久的に保存し、適切な修復を行い、次世代へと継承する。

2 潜在化している本質的価値の顕在化

本質的価値の顕在化と修景により実態を明らかにし、真正性に基づく歴史的空間、特性を表現し、棚倉城の本質的価値の体感を目指す。

3 安全・安心・快適な城内環境の実現

史跡指定地内での防災施設の適切な整備、指定地内の日常的な点検等による状態把握を行い、危険性を含む箇所の周知と迅速な対応を徹底することで、安全性の確保を図る。

都市公園としての植生との両立を図る。植生の適切な管理により土塁等の遺構の保護や都市公園としての景観を創出する。

4 来訪者の回遊性向上

サイン施設の設置、視点場の設定、イベントの実施等、来訪者の回遊性向上を図るための適切な整備を実施する。また、棚倉城跡の歴史を体感しながら理解を深めることができるモデルコースの設定と周知を図る。さらに、周辺の公共施設や関連歴史資産と連携を図り、棚倉町市街地を含む棚倉城跡周辺との連続性のある回遊も促進する。

5 様々な来訪者への適切な対応

支援を必要とする方や外国人観光客など、棚倉城跡を訪れる様々な方が棚倉城跡の魅力を体感し、理解を深めることができるよう、サイン、解説板、パンフレットやホームページ等での多言語表示等やバリアフリー等、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行う。

6 史跡情報の積極的公開・活用・広報

棚倉城跡の魅力に触れ、理解を深めてもらえるよう、継続的な調査研究の成果を公開し、サイン施設や解説表示、あるいはホームページの更新等も含め、成果に基づいた活用を積極的に行う。また、興味・関心をより多く得られるように棚倉城跡の魅力を積極的に広報する。

7 町民協働・地域との連携推進

本町民と棚倉城跡の価値を共有し、地域の連携を密に図ることで「地域の城」としての認識を深め、棚倉町のまちづくりに寄与する。また、イベントや学習機会の提供等、地域住民のニーズに合った活用を検討し、棚倉町の地域活性化や観光振興の拠点となるよう町民と協働して取組む。